

■2025年度 修了生アンケート

- ・実施時期 2025.12
- ・実施方法 Webアンケート
- ・対象者 2025年3月修了者

1 回答者数

47

2

① 現在の就職状況についてお答えください。

・正社員	78.7%
・非正社員	12.8%
・その他の就業（自営業等）	0.0%
・非就業	8.5%

② ①の勤務先（自営業等の内容）についてお答えください。（非就業の場合は予定している勤務先）

・監査法人	6.4%
・税理士事務所	70.2%
・一般企業	23.4%

3

① 専門職大学院での学びと修了後のキャリアについてお伺いします。

入学前に比較して、キャリアアップしましたか。

・大いに思う	66.0%
・少し思う	23.4%
・どちらともいえない	8.5%
・あまり思わない	0.0%
・全く思わない	2.1%

② ①の効果としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	46.8%
・配置転換等により希望の業務に従事できる	12.8%
・社内外の評価が高まる	29.8%
・円滑な転職に役立つ	8.5%
・希望の職種、業界で就職できる	44.7%
・特に効果はない	10.6%

③ ②の具体的事由をお聞かせください。

独立という選択肢も持てるようになった
大きい関与先、難しい関与先を任されるようになった
税理士登録後、事務所を引き継げる予定になっている
会計専攻であるため、会社では主に会計人材として育成されており、業務を通じて効率的にスキル向上が可能である。専門分野が明確で、関連企業の採用ニーズとの適合性も高く、就職活動に有利だと考える
あと1科目で税理士試験に合格できるという状況は就職に有利に働いた資格手当があるので、その分報酬面でも有利に立てている
税理士試験で勉強する以外のスキルが身に付いたため 等

④ 専門職大学院での学びは業務において役立ちましたか。

・とても役に立っている	53.2%
・役に立っている	36.2%
・どちらともいえない	8.5%
・あまり役に立っていない	0.0%
・役に立っていない	2.1%

⑤ ④の内容としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・専門的な知識が深まり、理論的な思考が身についた	74.5%
・実践的な内容の講義や実務的な演習が役立った	42.6%
・国際的な視野や倫理観が身についた	14.9%
・課題や目的に応じて情報を収集し、整理することが身についた	36.2%
・他者に対して自分の考えや想いを分かりやすく伝えられるようになった	19.1%
・会計基準、法令・通達・判例、専門書等を確認する習慣が身についた	42.6%
・特になし	2.1%

⑥ ⑤の具体的事由をお聞かせください。

お客様や社内での質問に対して、エビデンス資料を添付したり、書いた文章を読み直す癖がつくようになった
論理的思考に基づき、かつ、伝えたい言葉を噛み砕いて相手にわかりやすく伝達することが、容易になった
判例や条文に多く触れられたため、事例に対して論理的な検討ができるようになった
会計を専攻することで日本社会の制度やルールへの理解が深まり、就業後も段階的に学びを深めながら、将来のキャリア形成の基盤を築くことができる
実務に初めて触れる際、事前に理論的理解があることで、仕事を覚えやすい。税法や論文を多く読む経験をしたことで、実務における同様の文章を読める力が付いている 等

■2024年度 修了生アンケート

- ・実施時期 2024.12
- ・実施方法 Webアンケート
- ・対象者 2024年3月修了者

1 回答者数

33

2

① 現在の就職状況についてお答えください。

・正社員	84.8%
・非正社員	3.0%
・その他の就業（自営業等）	3.0%
・非就業	9.1%

② ①の勤務先（自営業等の内容）についてお答えください。（非就業の場合は予定している勤務先）

・監査法人	0.0%
・税理士事務所	72.7%
・一般企業	27.3%

3

① 専門職大学院での学びと修了後のキャリアについてお伺いします。

入学前に比較して、キャリアアップしましたか。

・大いに思う	51.5%
・少し思う	33.3%
・どちらともいえない	6.1%
・あまり思わない	0.0%
・全く思わない	9.1%

② ①の効果としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	39.4%
・配置転換等により希望の業務に従事できる	9.1%
・社内外の評価が高まる	18.2%
・円滑な転職に役立つ	6.1%
・希望の職種、業界で就職できる	27.3%
・特に効果はない	24.2%

③ ②の具体的事由をお聞かせください。

クライアントへの対応がレベルアップしたように感じる またそのように言われることが多い
親族でやっている事務所であり、待遇等に変化はない
年収の向上
来年1月より、経理業務の正社員で70歳まで働くことになった
資格手当がつく
実務に裏打ちされた専門知識をアウトプットできてことによる評価
転職の際にも有効となると思う
転職し、前職より年収が上がった。大学院を修了している所長と話が合い、 仕事が円滑に進んでいる
より専門性の高い知識を習得し、実務に生かすことができる
まだ資格を取得していないため効果は出ていない 等

④ 専門職大学院での学びは業務において役立ちましたか。

・とても役に立っている	48.5%
・役に立っている	42.4%
・どちらともいえない	6.1%
・あまり役に立っていない	0.0%
・役に立っていない	3.0%

⑤ ④の内容としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・専門的な知識が深まり、理論的な思考が身についた	81.8%
・実践的な内容の講義や実務的な演習が役立った	33.3%
・国際的な視野や倫理観が身についた	6.1%
・課題や目的に応じて情報を収集し、整理することが身についた	21.2%
・他者に対して自分の考えや想いを分かりやすく伝えられるようになった	9.1%
・会計基準、法令・通達・判例、専門書等を確認する習慣が身についた	63.6%
・特になし。	6.1%

⑥ ⑤の具体的事由をお聞かせください。

裁判例や法律を調べるようになった。先生方の話しがそのまま実務に使えた。 論文を書いたことで調べる、まとめる、伝える能力が向上した
IFRSなど新しい会計に触れることができた ゼミ形式の授業では、他業種の方の話を聞いたのは非常に面白かった 学問として租税法を学んだことは実務上役立っている
授業で習った参考事例などが、実務に応用出来た
必ず法令を確認する習慣がつき役立っている また判例も臆することなく読むことができるようになった
特別な事では無いが、先生の話思い出して調べることができたり、判断の プラスとなっている
法律等の内容だけでなく、その法律等がつくられた根拠についても意識する ようになった 等

■2023年度 修了生アンケート

- ・実施時期 2023.12
- ・実施方法 Webアンケート
- ・対象者 2023年3月修了者

1 回答者数

25

2

① 現在の就職状況についてお答えください。

・正社員	68.0%
・非正社員	4.0%
・その他の就業（自営業等）	8.0%
・非就業	20.0%

② ①の勤務先（自営業等の内容）についてお答えください。（非就業の場合は予定している勤務先）

・監査法人	16.0%
・税理士事務所	68.0%
・一般企業	16.0%

3

① 専門職大学院での学びと修了後のキャリアについてお伺いします。

入学前に比較して、キャリアアップしましたか。

・大いに思う	40.0%
・少し思う	36.0%
・どちらともいえない	20.0%
・あまり思わない	0.0%
・全く思わない	4.0%

② ①の効果としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	44.0%
・配置転換等により希望の業務に従事できる	8.0%
・社内外の評価が高まる	20.0%
・円滑な転職に役立つ	24.0%
・希望の職種、業界で就職できる	36.0%
・特に効果はない	20.0%

③ ②の具体的事由をお聞かせください。

・専門職に従事できるようになることを目指しており、その礎のひとつを習得できた
・大学院卒になるので、転職はしやすくなったと思う
・資格を取得しない限り、特に評価にはつながらないという印象である
・実務対応に有用である
・大学院を修了することで税理士の資格が4科目となり、税理士事務所の方の対応が良くなった
・毎月の給与に税理士手当がついた
・転職活動の際に大学院での就学についての質問が多くあり、採用する側の評価に影響を与えていると感じた
・税法免除二科目となり、あと一科目試験合格で税理士資格取得できる人とみなされる
・給料が上がり、転職先を選ぶ際の選択肢が広がった
・勤務先の処遇面でのキャリアアップはないが、今後の転職等の機会には活用したいと考えている
・仕事をする上で理解度が高まる

④ 専門職大学院での学びは業務において役立ちましたか。

・とても役に立っている	28.0%
・役に立っている	56.0%
・どちらともいえない	16.0%
・あまり役に立っていない	0.0%
・役に立っていない	0.0%

⑤ ④の内容としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・専門的な知識が深まり、理論的な思考が身についた	60.0%
・実践的な内容の講義や実務的な演習が役立った	48.0%
・国際的な視野や倫理観が身についた	4.0%
・課題や目的に応じて情報を収集し、整理することが身についた	24.0%
・他者に対して自分の考えや想いを分かりやすく伝えられるようになった	12.0%
・会計基準、法令・通達・判例、専門書等を確認する習慣が身についた	36.0%
・特になし。	8.0%

⑥ ⑤の具体的事由をお聞かせください。

・監査についての理論と実務がセットになった形で学ぶことができた
・会計実務でこれは大学院で勉強したなと思うことがあり、具体的には、マネジメントに関わることや消費税などである
・判例研究が有用であった
・理論的な思考が身についたと感じる
・未知の物事に対しても、論文作成で身につけた情報収集や真理の見極めの判断等のスキルが、実社会においても役立つと思う
・対象会社の財務分析や所在国の法令遵守の状況の調査において講義や演習の内容が役立っている

■2022年度 修了生アンケート

- ・実施時期 2022.12
- ・実施方法 Webアンケート
- ・対象者 2022年3月修了者

1 回答者数

21

2

① 現在の就職状況についてお答えください。

・正社員	66.7%
・非正社員	0.0%
・その他の就業（自営業等）	14.3%
・非就業	19.0%

② ①の勤務先（自営業等の内容）についてお答えください。（非就業の場合は予定している勤務先）

・監査法人	9.5%
・税理士事務所	71.4%
・一般企業	19.0%

3

① 専門職大学院での学びと修了後のキャリアについてお伺いします。

入学前に比較して、キャリアアップしましたか。

・大いに思う	38.1%
・少し思う	42.9%
・どちらともいえない	19.0%
・あまり思わない	0.0%
・全く思わない	0.0%

② ①の効果としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・処遇の向上（昇進、昇格、資格手当等）に役立つ	33.3%
・配置転換等により希望の業務に従事できる	0.0%
・社内外の評価が高まる	33.3%
・円滑な転職に役立つ	33.3%
・希望の職種、業界で就職できる	38.1%
・特に効果はない	4.8%

③ ②の具体的事由をお聞かせください。

・税務相談について任されるようになった
・大学院の税法免除と在学中に一部科目合格したことで、税理士法人にすんなり入社できた
・職務経歴上、自己研鑽を積んでいることを具体的に示すことが出来る
・税理士として独立開業するので転職や処遇の向上等のキャリアアップは無いと思うが、会計専門職大学院で高度な会計学を学んだことにより顧客からの評価が高まることはあると思う。
・大学院で論文を学んだことにより、転職時に評価を受けやすい

④ 専門職大学院での学びは業務において役立ちましたか。

・とても役に立っている	33.3%
・役に立っている	52.4%
・どちらともいえない	14.3%
・あまり役に立っていない	0.0%
・役に立っていない	0.0%

⑤ ④の内容としてどのようなものがありますか。（複数回答）

・専門的な知識が深まり、理論的な思考が身についた	61.9%
・実践的な内容の講義や実務的な演習が役立った	14.3%
・国際的な視野や倫理観が身についた	9.5%
・課題や目的に応じて情報を収集し、整理することが身についた	52.4%
・他者に対して自分の考えや想いを分かりやすく伝えられるようになった	4.8%
・会計基準、法令・通達・判例、専門書等を確認する習慣が身についた	52.4%
・特になし。	4.8%

⑥ ⑤の具体的事由をお聞かせください。

・新しい税務情報をこまめに取得するようになった
・自分の意見を自信をもって言えるようになった
・法律や判例を少し読むことができるようになった
・資格の勉強だけでは得られない人前で考えを述べたり、パワーポイントで資料を作成し発表したことは良い経験になった
・税務に関する疑問や相談事案がある場合に、何をどう探せばよいかわかるようになった
・税法の論文指導により法的思考が身に付き、税務上の問題・課題に対応する能力が高まった
・判例研究に慣れることができた
・仕事で減価償却資産の固定資産、償却資産の区分分けをする際、通達や情報収集等を行う癖が身についた